



みなみ

南小の校訓：ほんきに なかよく がんばる

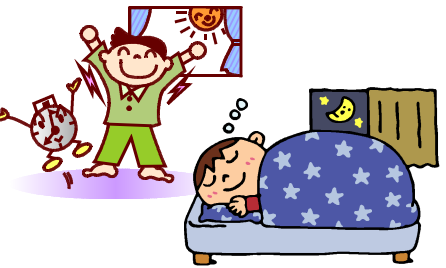


石岡市立南小学校
学校だより No.7
発行日 2023.7.4
文責 校長(山口)

子供たちの健やかな成長のために

科学技術や社会の進展に伴い、子供たちを取り巻く環境は、保護者の方々の子供時代とは大きく変化しています。今の子供たちは、大人たちの都合に関係なく、今の環境から様々なことを学んでいます。そして、その環境には、大人が快く思うものだけで無く、好ましいとは思えない…できれば接触させたくないもの、与えたけれどコントロールが難しいものも多く存在します。

児童の健やかな成長のために、学校の視点から心配なことを2点ほど示します。現代の子育ては、意外と管理が難しいのです。お子様の様子を見たり考えたり、お子様と話し合ったり約束を決めたりする機会の資料として、ご活用いただければ幸いです。



○早寝・早起き・朝ごはんについて

この言葉は、児童の成長にとってとても大切な視点だと捉えています。現在、発達障害等が疑われる児童の増加が報道等で伝えられていますが、その一部については、この3点+運動習慣で改善したとの報告もあります。また、うつ病などの精神疾患等についても、生活リズムの改善により、症状の寛解につながったとの報告があります。成長期の児童に必要な睡眠時間について、公益財団法人「日本学校保健会」のリーフレットには、右表のように示されています。これによれば、小学校低学年であれば夜8時就寝で朝6時30分に起床するイメージです。

小児期に必要な標準睡眠時間	
年齢	睡眠時間
7歳	10時間30分
9歳	10時間00分
11歳	9時間30分

皆様のご家庭ではいかがでしょうか？睡眠は、ストレス反応への対処、記憶の整理、食事との関連を含め体の成長と深い関連があります。睡眠不足では朝食が満足にとれず、心身の成長にとってもよい影響は望めません。早起きして太陽光を浴びることで、脳内の体内時計リズムがリセットされ、体温や血圧が上昇し、行動準備が整います。最近では脳への強い刺激があるスマートフォン、ゲーム機器等の影響で、入眠環境が整わない場合も少なくありません。スクリーンタイムを制限するなどして、大人が適切な環境を整えていくことが重要です。

○インターネット接続環境の影響について

一人一台端末、ネット接続家庭用ゲーム機、スマートフォンなど、家庭に居ながらにして世界と繋がる環境が子供の手に届く状況にあります。家庭用ゲーム機のメール機能やインカム機能、TikTokやLINEなどのSNSの様に、保護者の目が行き届きにくい場所で、不特定多数とのコミュニケーションが行える環境にあります。県内の市町村立学校においても、これらのツールによる裸画像送信の被害、課金の請求、クレジットカード情報漏洩、連れ回しや性的被害事案等、男女・学年を問わず発生しています。「同年代の同性との良好なコミュニケーション…と思っていたらある日…」という事案は少なくありません。はじめから悪意を持って、計画的に接触してきた大人からすれば、子供をだますのは難しくありません。また、今の生活に不満や不安があり、本人から外の世界に「はけ口」や「相談」を持ちかければ、すぐに受け入れてもらえる環境であり、その全員が善意で対応するわけではありません。



児童同士の SNS 使用については、短く主観的な言葉のやりとりにより真意が伝わらずにトラブルが発

生したり、許諾を得ず貼り付けた画像がきっかけで誤解が生まれたまま拡散したりと、気がついたときには子供の手に負えない状況になっているだけでなく、警察や賠償事案のケースも少なくありません。

また、前項でも述べましたが、これらの機器は刺激が強く中毒性が高いため、つつい約束の時間を延長して使用し、睡眠時間が短くなるなど、心身への影響も見逃せません。

インターネット接続機器等の家庭での活用については、保護者の与える環境や管理（本人との約束）が重要です。夏休み前のこの機会に、各ご家庭でぜひ、話し合いやルールの見直し、確認等を行っていただければと思います。

子供の安全のために・・・

保護者の皆様と、お子様の登下校連絡と、学校の安全・危機管理との関係について共有したいことがあります。

その一つは、朝の欠席・遅刻の連絡についてです。保護者の皆様方からは、日頃より連絡帳や電話にて連絡いただいている状況です。ご協力に感謝申し上げます。しかしながら、何らかの都合で連絡が繋がらず児童が登校していない場合、学校は登校時のトラブル（交通事故や不審者遭遇）等、最悪な状況を視野に入れます。そのため、保護者を含め関係の方々に、学校から連絡を入れています。万が一連絡がつかない場合には、学校から通学路沿いに職員を向かわせたり家庭訪問も視野に入れたりといった対応になります。学校は必要最低限の人数配置であり、校外に職員を出すと教育活動への影響があります。保護者の皆様には、登校時の安全・危機管理について共有いただき、今後とも連絡への対応にご協力いただきたいと思います。

もう一つは、下校方法の変更連絡についてです。仕事や家族の体調急変などの様々な事情で、児童クラブの予定が帰宅に、またその逆など、毎日様々な連絡をいただいています。学校でもその変更に対応しています。

上記の連絡が入った際、実は学校ではいろいろな物語が発生します。「〇年△組の□□さんの下校が、学童からお迎えに変更」との連絡を受けた場合、連絡を受けた者が担任まで伝える業務が発生します。その際、学級では担任が「今日の感動的な出来事を伝えているクライマックスの場面かも…」「クラスでトラブルが発生し、今とても重要な話をしている場面かも…」と考えると、インターフォンでの連絡というわけにもいきません。直接伝えよう…となれば、担当者が教室まで伝えるのですが、担任と児童との話しの切れ間を待ち、そのタイミングで伝えるので時間がかかります。それが1件、2件と続くとどうでしょう。また、連絡事項を伝えるべき教室に、まっすぐたどり着けるとは限りません。伝える途中、「目の前でケガの場面への遭遇」「危険な行為を目にした場合の指導」「先生、ちょっと相談したいことが…」等に遭遇し、目的の場所までなかなかたどり着けないことは日常茶飯事です。

また、変更連絡の際にはいつも「なりすまし事案だったら…」の心配も考えます。上の様な連絡でもそうなのですが、さらに「親戚と名乗る方からの電話」や「知り合いの△△さんが迎えに行きます」などの場合、「親戚と名乗る方」や「知り合いの△△さん」については、引き渡しカードなどの記載内容から確認したり本人に確認したりするなどします。また、保護者からの「連絡帳には〇〇と書いたのですが…」の連絡に対し、〇〇が違っていたりすると、本当に保護者からなの？となり、判断しがたい場合も多くあります。結局は、学校から保護者にもう一度連絡するなどの確認をしたり、下校指導をして家に入るのを見守ったりすることもあります。たった一本の電話ですが、そこには物語があるのです。

保護者の方々には直接目に見えない、私たちの諸手続等の一部についてご理解いただき、何よりも子供たちの安全のためにも、いつもと違う帰宅方法の場合には、できるだけ連絡帳等で事前にお願ひいたします。また急な変更で電話による連絡の場合、できるだけ時間的な余裕をもって連絡いただくよう願ひいたします。場合によっては、詳細を確認したり折り返し連絡したりする場合がありますので、了解いただきたいと思います。

